



# GUNNM Last Order

Vol. 10

大河内一楼

# INTRODUCTION

アーサー・ファレル



ヴィルマと因縁のあった  
人類の指導者。

アガ・ムバディ



LADDER議長補佐。  
ノヴァの脳チップを入手。

ディスティ・ノヴァ



悪魔的な天才科学者。  
ガリィに固執している。

カエルラ・サングウィス



不死の血族。かつては、  
ヴィルマ・アカキーリと名乗っていた。

ピンク・ウー



元・凌腕ハッカー。  
今はガリィの協力者。

ヨーコ  
ガリィ(陽子)

本編の主人公。  
火星生まれのサイボーグ戦士で、  
機甲術の使い手。

近未来。世界は、支配する者と支配される者とに二分されていた。圧倒的な力で地上を治めるのは、天空に浮かぶ人工の楽園都市・ザレム。だが、誰が、いつ、何のために、空中都市を造ったのか、知る者はいない。地上のクズ鉄町に住むザレム出身の医師・イドは、古い瓦礫の中から少女の頭部を発見し、ガリィと名付ける。奇跡的に甦ったものの、彼女の記憶は完全に失われていた。しかし、クズ鉄町での生活は、ガリィの中に眠っていた「戦士」の血を徐々に呼び覚ます。ガリィは賞金稼ぎを生業としながら、貪欲に自己発見の道を突き進み始めた。

ザレムに憧れる少年・ユゴーと出会って恋を知り、彼の死にまみえ魂の懲罰を知った。絶望から逃れようと飛び込んだプロスポーツ・MB界では、帝王と呼ばれる男・シャシュガーンとの邂逅、死闘、決別を経験する。自身を刃のように研ぎ澄まし、闘い、挑むことによって、ガリィは内なる自分を見つめ続ける。だが、狂気の科学者・ノヴァに改造されたザバンとの闘いの果てに、ガリィは「家族」であるイドを失い、己の命さえも風前の灯火となってしまう。

そのガリィを拾い上げ、新たな道を提示したのは、ザレム地上監察局だった。イド再生の鍵を探るノヴァの行方を追うために、ガリィはザレムの地上エリジエント・TUNEDとして生きる道を選んだ。ガリィは、傭兵のフォギアと知り合い、なくしかけていた「人の心を取り戻す」。そんなガリィの前に立ちはだかる者が次々と現れた。ノヴァの息子でサイコメトリーのケイオス。ケイオスの第一の人格として生まれ、ザレムに敵対する民衆のリーダー・電。電を薦う少女・ヨミ。ガリィの複製として作られたTUNED・GRシリーズ……。熾烈を極めた闘いの中で、TUNEDシステムをバクアップしていた協力者・ルウは解任され、ザレム人の脳がマイクロチップであるという驚愕の真実が明かされる。

対自核夢による脳内ハッキングをはねのけノヴァを倒したガリィは、ついにノヴァの手により、ガリィは究極のイマジノス体を与えられ復活を果たす。行方不明だったルウがザレムで発見されるが、それは脳内チップを抜かれた死体だった。摘出され宇宙都市・イエールに運ばれたルウの生身脳を捜して、ガリィはノヴァと護衛のGRシリーズ・ゼクスらと共に、イエールへ乗り込んだ。だが、イエールの実力者・ムバディにノヴァは捕らえられ、ガリィたちは宇宙空間へ遺棄されてしまう。間髪一元・凌腕ハッカーのピングと、火星王国・リメイラ女王に救助されたガリィたちは、ルウの脳奪還のチャンスを待つために、イエールで開催される森羅天頂武闘大会・ZOTTに出場することに。ZOTT第一回戦で、ガリィら宇宙天使隊は、カエルラ率いる星の保育園協会・ガントールを撃破。過去の因縁でつながっていたカエルラから、謎のプログラム「アタ・モルガーナ」を託された。つづく第2回戦をゼクスらに任せて、ガリィはイエール本体への潜入を企てる。途中、かつての機甲術教育・ツァイクと遭遇したことがきっかけで、ガリィは過去の記憶を取り戻した。決意を新たにしたガリィは、「アタ・モルガーナ」を使い中央電腦へとダイブ。そこでガリィが見たのは、不死の血族と人類との長い対立の歴史だった。血族でありながら両者の共存を願っていたヴィルマに助けられ、アーサーたち人類が最後の闘争に勝利する。人々のリーダーとなつたアーサーは、世界の仕組みを構築、その後見人としてヴィルマを指名し「最終指令」の権限を与えたのだった。

# GUNNM Last Order

Presented by Yukito Kishiro

vol.10

PHASE:56

プリンは さだめ

005

PHASE:57

この世界の成り立ちを

021

PHASE:58

マジになるなよ

053

PHASE:59

スットボけてんじやねえ

085

PHASE:60

超音速で成長中

103

PHASE:61

世にも稀なる

135

PHASE:62

絶対零度の暗闇に

167